

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	単位型投信／海外／債券	
信 託 期 間	約 5 年間（2014年 3 月31日～2019年 3 月22日）	
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主 要 投 資 対 象	ベビ ー フ ァ ン ド	ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドの受益証券
	ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
マザーファンドの運用方法	①主として、海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ．投資対象は、主として海外企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。 ロ．流動性を確保するため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての国債、州債およびコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。 ハ．債券の格付けは、取得時において B B B 格相当以上（ムーディーズで B a a 3 以上または S & P で B B B - 以上もしくはフィッチで B B B - 以上）とします。 ニ．金利リスク対応のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての債券先物取引を利用することがあります。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。 ※ベビ ー フ ァ ン ド「為替ヘッジあり」においては、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。	
組 入 制 限	ベビ ー フ ァ ン ドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の 10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれが多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビ ー フ ァ ン ド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド
2014－03
（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版）
第 6 期
（決算日 2017年 3 月22日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外貨建て海外社債ファンド 2014－03（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」は、このたび、第 6 期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0 1 2 0－1 0 6 2 1 2
（営業日の 9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<2680>
<2681>

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

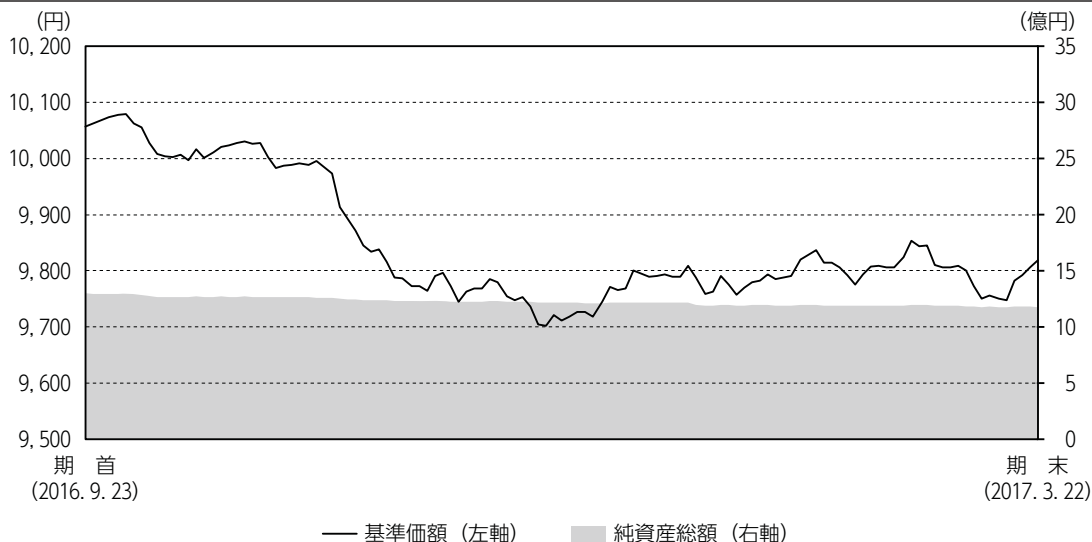
決 算 期	基 準 価 額				受 益 者 利 回 り	公 社 債 組入比率	債券先物 比 率	元 本 残 存 率
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 額	期 中 騰 落 率				
	円	円	円	%	%	%	%	%
設 定 (2014年 3月31日)	10,000	—	—	—	—	—	—	100.0
1 期 末 (2014年 9月22日)	10,140	110	250	2.5	5.2	101.8	—	98.6
2 期 末 (2015年 3月23日)	10,237	160	257	2.5	5.2	98.0	—	72.0
3 期 末 (2015年 9月24日)	9,950	100	△ 187	△ 1.8	2.2	96.4	—	66.2
4 期 末 (2016年 3月22日)	9,908	100	58	0.6	1.9	94.8	—	57.8
5 期 末 (2016年 9月23日)	10,057	120	269	2.7	2.6	92.8	—	50.7
6 期 末 (2017年 3月22日)	9,718	100	△ 239	△ 2.4	1.4	95.7	—	47.3

(注 1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
(注 4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期 首：10,057円

期 末：9,718円（分配金100円）

騰落率：△2.4%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を通じて、主として海外企業が発行する外貨建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行なった結果、保有債券からの利息収入はプラスに寄与しましたが、社債金利の上昇（債券価格の下落）などがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014－03（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率		
	円	%	%	%
(期 首) 2016年 9 月23日	10,057	—	92.8	—
9 月末	10,079	0.2	93.2	—
10月末	9,987	△ 0.7	97.8	—
11月末	9,796	△ 2.6	101.5	—
12月末	9,771	△ 2.8	95.6	—
2017年 1 月末	9,783	△ 2.7	96.6	—
2 月末	9,844	△ 2.1	96.7	—
(期 末) 2017年 3 月22日	9,818	△ 2.4	95.7	—

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2016. 9. 24 ～ 2017. 3. 22）

■海外債券市況

米国やオーストラリアなどの海外債券市況は、欧米の景況感の改善を示す経済指標やインフレ期待の上昇などを背景に、米国の利上げ観測やＥＣＢ（欧州中央銀行）による量的緩和の減額への懸念が広がり、国債金利が上昇基調となりました。また、米国大統領選挙の結果を受け、新政権による経済政策などへの期待が高まったことで、国債金利は2016年末にかけて上昇ペースを速めました。2017年に入ってから、米国における政策の実現性や利上げペースを見極める流れの中で、国債金利の上昇に一服感が広がりました。

こうした環境下、米ドルや豪ドルなど外貨建ての社債についても金利が上昇しました。ただし、発行体信用力に目立った悪化は見られず、相対的に高い利回りを求める投資需要にも支援され、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてＢＢＢ格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

ポートフォリオについて

（2016. 9. 24 ～ 2017. 3. 22）

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオ構成を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は100円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益が16,415,857円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益16,415,857円（1万口当り135.93円）を分配対象額として、うち12,075,907円（1万口当り100円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 9. 24～2017. 3. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	67円	0. 679%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 846円です。
（投 信 会 社）	(26)	(0. 266)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(39)	(0. 399)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0. 007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	68	0. 690	

（注 1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注 2）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注 3）比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年9月24日から2017年3月22日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	—	—	237,204	267,800

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	1,229,785	992,580	1,147,323

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年3月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	1,147,323	96.0
コール・ローン等、その他	47,744	4.0
投資信託財産総額	1,195,068	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=111.72円、1オーストラリア・ドル=85.67円です。

(注3) ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,355,993千円)の投資信託財産総額(1,360,984千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年3月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,321,736,529円
コール・ローン等	26,162,833
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド(評価額)	1,147,323,893
未収入金	1,148,249,803
(B) 負債	1,148,189,349
未払金	1,127,985,000
未払収益分配金	12,075,907
未払信託報酬	8,079,576
その他未払費用	48,866
(C) 純資産総額(A-B)	1,173,547,180
元本	1,207,590,712
次期繰越損益金	△ 34,043,532
(D) 受益権総口数	1,207,590,712口
1万口当り基準価額(C/D)	9,718円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,718円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は34,043,532円です。

■損益の状況

当期 自2016年9月24日 至2017年3月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 7,931円
支払利息	△ 7,931
(B) 有価証券売買損益	△ 113,215,195
売買益	82,275,372
売買損	△ 195,490,567
(C) 有価証券評価差損益	91,205,088
(D) 信託報酬等	△ 8,370,410
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 30,388,448
(F) 前期繰越損益金	7,445,313
(G) 解約差損益金	975,510
(H) 合計(E+F+G)	△ 21,967,625
(I) 収益分配金	△ 12,075,907
次期繰越損益金(H+I)	△ 34,043,532

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	100円

分配金の課税上の取扱いについて

・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。

・法人の受益者の場合、税率が異なります。

・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。

・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

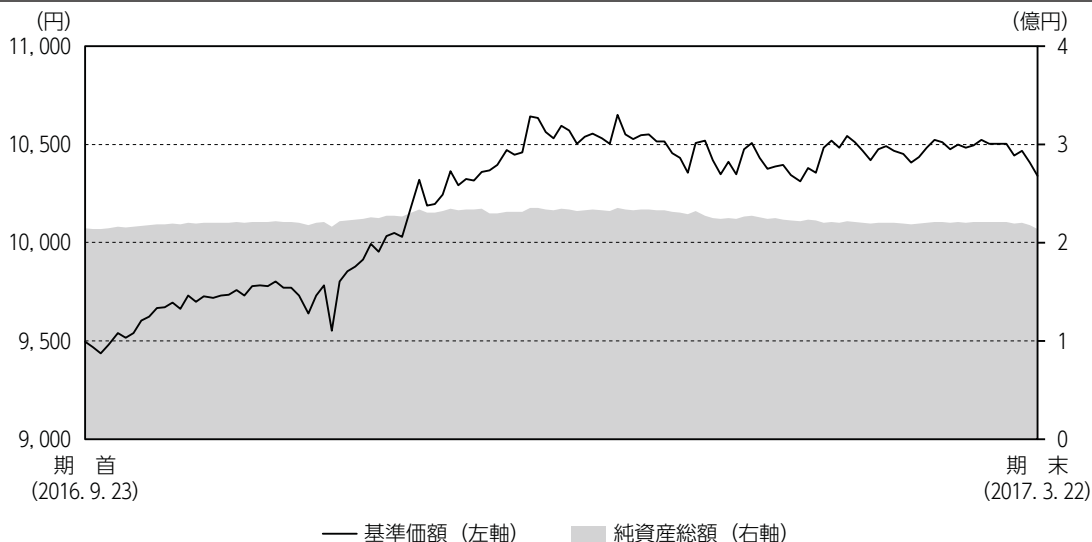
決 算 期	基 準 価 額				受 益 者 利 回 り	公 社 債 組入比率	債券先物 比 率	元 本 残 存 率
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 額	期 中 騰 落 率				
	円	円	円	%	%	%	%	%
設 定 (2014年 3月31日)	10,000	—	—	—	—	—	—	100.0
1 期末 (2014年 9月22日)	10,587	135	722	7.2	15.0	97.3	—	99.1
2 期末 (2015年 3月23日)	11,325	165	903	8.5	16.6	96.5	—	88.4
3 期末 (2015年 9月24日)	10,771	175	△ 379	△ 3.3	8.4	98.0	—	27.0
4 期末 (2016年 3月22日)	10,193	160	△ 418	△ 3.9	4.2	95.2	—	23.0
5 期末 (2016年 9月23日)	9,495	100	△ 598	△ 5.9	0.9	92.8	—	22.1
6 期末 (2017年 3月22日)	10,211	130	846	8.9	3.6	97.3	—	20.5

(注 1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
(注 4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期 首：9,495円

期 末：10,211円（分配金130円）

騰落率：8.9%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を通じて、主として海外企業が発行する外貨建ての社債に投資した結果、社債金利の上昇（債券価格の下落）はマイナス要因となりましたが、保有債券からの利息収入や、米ドルと豪ドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2016年 9 月23日	9,495	—	92.8	—
9 月末	9,515	0.2	93.9	—
10月末	9,773	2.9	95.1	—
11月末	10,245	7.9	98.0	—
12月末	10,505	10.6	95.7	—
2017年 1 月末	10,431	9.9	96.9	—
2 月末	10,434	9.9	97.8	—
(期 末) 2017年 3 月22日	10,341	8.9	97.3	—

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2016. 9. 24 ～ 2017. 3. 22）

■海外債券市況

米国やオーストラリアなどの海外債券市況は、欧米の景況感の改善を示す経済指標やインフレ期待の上昇などを背景に、米国の利上げ観測やE C B（欧州中央銀行）による量的緩和の減額への懸念が広がり、国債金利が上昇基調となりました。また、米国大統領選挙の結果を受け、新政権による経済政策などへの期待が高まったことで、国債金利は2016年末にかけて上昇ペースを速めました。2017年に入ってから、米国における政策の実現性や利上げペースを見極める流れの中で、国債金利の上昇に一服感が広がりました。

こうした環境下、米ドルや豪ドルなど外貨建ての社債についても金利が上昇しました。ただし、発行体信用力に目立った悪化は見られず、相対的に高い利回りを求める投資需要にも支援され、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

■為替相場

米国の利上げ観測が広がったほか、米国大統領選挙の結果を受け、新政権による政策への期待が世界的に高まったこともあり、米ドルや豪ドルは期首から2016年末にかけて対円で上昇しました。しかしその後は、米国における政策の実現性や利上げペースを見極める流れの中で、米ドルや豪ドルの動きにも一服感が広がりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れます。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

ポートフォリオについて

（2016. 9. 24 ～ 2017. 3. 22）

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオ構成を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は130円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額7,130,619円が、経費控除後の配当等収益2,950,957円を超過しているため、純資産額の元本超過額7,130,619円（1万口当り340.71円）を分配対象額として、うち2,720,718円（1万口当り130円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れます。

■ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 9. 24～2017. 3. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	69円	0. 679%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は 10, 211円です。
（ 投 信 会 社 ）	(27)	(0. 266)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(41)	(0. 399)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 銀 行 ）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0. 007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	70	0. 690	

（注 1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注 2）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注 3）比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年9月24日から2017年3月22日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	—	—	18,840	21,900

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	202,785	183,945	212,622

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年3月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	212,622	97.1
コール・ローン等、その他	6,307	2.9
投資信託財産総額	218,930	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝111.72円、1オーストラリア・ドル＝85.67円です。

(注3) ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,355,993千円）の投資信託財産総額（1,360,984千円）に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年3月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	218,930,709円
コール・ローン等	5,307,999
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド（評価額）	212,622,710
未収入金	1,000,000
(B) 負債	5,234,799
未払収益分配金	2,720,718
未払解約金	1,046,800
未払信託報酬	1,458,400
その他未払費用	8,881
(C) 純資産総額（A－B）	213,695,910
元本	209,286,009
次期繰越損益金	4,409,901
(D) 受益権総口数	209,286,009口
1万口当り基準価額（C／D）	10,211円

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,211円です。

■損益の状況

当期 自2016年9月24日 至2017年3月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 274円
支払利息	△ 274
(B) 有価証券売買損益	3,059,749
売買益	3,059,749
(C) 有価証券評価差損益	17,726,682
(D) 信託報酬等	△ 1,535,308
(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）	19,250,849
(F) 前期繰越損益金	△ 11,421,597
(G) 解約差損益金	△ 698,633
(H) 合計（E＋F＋G）	7,130,619
(I) 収益分配金	△ 2,720,718
次期繰越損益金（H＋I）	4,409,901

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は14ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	130円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

運用報告書 第6期 (決算日 2017年3月22日)

(計算期間 2016年9月24日～2017年3月22日)

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
運 用 方 法	①主として、海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 投資対象は、主として海外企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。 ロ. 流動性を確保するため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての国債、州債およびコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。 ハ. 債券の格付けは、取得時においてBBB格相当以上（ムーディーズでBaa3以上またはS&PでBBB-以上もしくはフィッチでBBB-以上）とします。 ニ. 金利リスク対応のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての債券先物取引を利用することがあります。 ③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

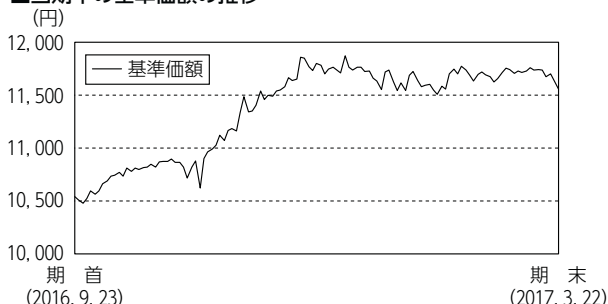
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率		
(期 首) 2016年 9月23日	円 10,540	% —	% 93.2	% —
9 月 末	10,565	0.2	94.4	—
10 月 末	10,865	3.1	95.5	—
11 月 末	11,405	8.2	98.3	—
12 月 末	11,708	11.1	95.9	—
2017年 1 月 末	11,640	10.4	97.2	—
2 月 末	11,655	10.6	98.1	—
(期 末) 2017年 3月22日	11,559	9.7	97.8	—

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注 3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,540円 期末：11,559円 騰落率：9.7%

【基準価額の主な変動要因】

主として海外企業が発行する外貨建ての社債に投資した結果、社債金利の上昇（債券価格の下落）はマイナス要因となりましたが、保有債券からの利息収入や、米ドルと豪ドルが対円で上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○海外債券市場

米国やオーストラリアなどの海外債券市場は、欧米の景況感の改善を示す経済指標やインフレ期待の上昇などを背景に、米国の利上げ観測やECB（欧州中央銀行）による量的緩和の減額への懸念が広がり、国債金利が上昇基調となりました。また、米国大統領選挙の結果を受け、新政権による経済政策などへの期待が高まったことで、国債金利は2016年末にかけて上昇ペースを速めました。2017年に入ってから、米国における政策の実現性や利上げペースを見極める流れの中で、国債金利の上昇に一服感が広がりました。

こうした環境下、米ドルや豪ドルなど外貨建ての社債についても金利が上昇しました。ただし、発行体信用力に目立った悪化は見ら

れず、相対的に高い利回りを求める投資需要にも支援され、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

○為替相場

米国の利上げ観測が広がったほか、米国大統領選挙の結果を受け、新政権による政策への期待が世界的に高まったこともあり、米ドルや豪ドルは期首から2016年末にかけて対円で上昇しました。しかしその後は、米国における政策の実現性や利上げペースを見極める流れの中で、米ドルや豪ドルの動きにも一服感が広がりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてBBB格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

◆ポートフォリオについて

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオ構成を維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてBBB格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
合 計	1

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2016 年 9 月 24 日から 2017 年 3 月 22 日まで)

外 国			買 付 額	売 付 額
			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
	アメリカ	社債券	—	1,243 (—)
	オーストラリア	社債券	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル 529 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注 4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2016 年 9 月 24 日から 2017 年 3 月 22 日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	銘 柄	銘 柄	金 額
	千円		千円
		AUST & NZ BANK（オーストラリア）4.875% 2021/3/19	44,693
		Societe Generale SA（フランス）5.2% 2021/4/15	37,465
		Caterpillar Financial Services Corp（アメリカ）2.85% 2022/6/1	34,712
		UNITED TECH CORP（アメリカ）3.1% 2022/6/1	23,892
		McDonald's Corp（アメリカ）2.2% 2020/5/26	23,266
		McDonald's Corp（アメリカ）3.625% 2021/5/20	23,168

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当 期		末	
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うち B B 格 以下組入 比 率
区 分		外 貨 建 金 額 邦 貨 換 算 金 額		
				残存期間別組入比率
				5 年 以 上 2 年 以 上 2 年 未 満
				% % %
アメリカ	千アメリカ・ドル 8,200	千アメリカ・ドル 8,729 千円 975,294	% 71.7	% — 57.9 13.9 —
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 4,000	千オーストラリア・ドル 4,146 千円 355,243	% 26.1	% — 6.3 10.2 9.6
合 計	—	— 千円 1,330,538	% 97.8	% — 64.2 24.0 9.6

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当 期				未				
区 分		銘 柄	種 類	年利率	評 価 額			償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
アメリカ		MetLife Inc	社債券	3.0000%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	2025/03/01
		FedEx Corp	社債券	4.9000	200	195	21,881	2025/03/01
		Hewlett-Packard Co	社債券	4.6500	300	322	36,067	2034/01/15
		FORD MOTOR CR. CO.	社債券	4.2500	500	534	59,759	2021/12/09
		Anheuser-Busch InBev Finance Inc	社債券	4.2500	500	523	58,526	2022/09/20
		Time Warner Cable Inc	社債券	2.6250	300	295	33,003	2023/01/17
		Wal-Mart Stores Inc	社債券	5.0000	300	319	35,658	2020/02/01
		Verizon Communications Inc	社債券	5.8750	300	369	41,252	2027/04/05
		KROGER CO	社債券	4.1500	300	310	34,681	2024/03/15
		HOME DEPOT INC.	社債券	3.3000	500	512	57,212	2021/01/15
		CITIGROUP INC.	社債券	3.7500	200	211	23,655	2024/02/15
		Wells Fargo & Co	社債券	5.5000	500	547	61,163	2025/09/13
		Bank One Corp	社債券	4.1250	500	522	58,365	2023/08/15
		GOLDMAN SACHS GROUP INC.	社債券	7.7500	500	628	70,161	2025/07/15
		BPCE SA	社債券	4.0000	500	517	57,841	2024/03/03
		Enel Finance International NV	社債券	5.1500	500	513	57,396	2024/07/21
		RABOBANK NEDERLAND	社債券	5.1250	300	320	35,779	2019/10/07
		GlaxoSmithKline Capital PLC	社債券	4.6250	500	526	58,861	2023/12/01
		Santander UK PLC	社債券	2.8500	500	504	56,309	2022/05/08
		Telefonica Emisiones SAU	社債券	5.0000	500	521	58,216	2023/11/07
			4.5700	500	532	59,498	2023/04/27	
通貨小計	銘柄数	20銘柄						
	金 額			8,200	8,729	975,294		
オーストラリア		Brisbane Airport Corp Pty Ltd	社債券	6.0000	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル		2020/10/21
		Incitec Pivot Ltd	社債券	5.7500	500	542	46,461	2019/02/21
		Aurizon Network Pty Ltd	社債券	5.7500	500	521	44,634	2019/02/21
		National Australia Bank Ltd	社債券	2.6500	1,000	1,072	91,922	2020/10/28
		Westpac Banking Corp	社債券	4.5300	1,000	1,006	86,184	2018/11/08
通貨小計	銘柄数	5銘柄						
	金 額			4,000	4,146	355,243		
合 計	銘柄数	25銘柄						
	金 額					1,330,538		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

■投資信託財産の構成

2017年 3月22日現在		
項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,330,538	97.8
コール・ローン等、その他	30,445	2.2
投資信託財産総額	1,360,984	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝111.72円、1オーストラリア・ドル＝85.67円です。
 (注3) 当期末における外貨建純資産(1,355,993千円)の投資信託財産総額(1,360,984千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年 3月22日現在		
項 目	当 期 末	
(A)資産	1,360,984,080円	
コール・ローン等	17,992,911	
公社債（評価額）	1,330,538,438	
未取利息	12,452,731	
(B)負債	1,000,000	
未払解約金	1,000,000	
(C)純資産総額（A－B）	1,359,984,080	
元本	1,176,526,174	
次期繰越損益金	183,457,906	
(D)受益権総口数	1,176,526,174口	
1万口当り基準価額（C／D）	11,559円	

- * 期首における元本額は1,432,570,905円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は256,044,731円です。
- * 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014－03（為替ヘッジあり）992,580,581円、ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014－03（為替ヘッジなし）183,945,593円です。
- * 当期末の計算口数当りの純資産額は11,559円です。

■損益の状況

当期 自2016年 9月24日 至2017年 3月22日		
項 目	当 期	
(A)配当等収益		30,126,646円
受取利息		30,131,104
支払利息	△	4,458
(B)有価証券売買損益		109,691,118
売買益		153,194,515
売買損	△	43,503,397
(C)その他費用	△	107,336
(D)当期損益金（A＋B＋C）		139,710,428
(E)前期繰越損益金		77,402,747
(F)解約差損益金	△	33,655,269
(G)合計（D＋E＋F）		183,457,906
次期繰越損益金（G）		183,457,906

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。